

安心して食べられる食品って何？

——食品のリスクについて消費者はどのように理解しているか、
またリスクコミュニケーションの重要性について考えよう——

2011/2/9

〈意見交換会〉

消費者として食品のリスクとリスクコミュニケーションをどう考えるか

奈良県生協連 野村 由佳

○消費者は食品のリスクをどう理解しているか？と言われても…

たくさんリスク情報 ⇒ 大きな声で聞こえることが重大リスク？
いろんな人がいるけれど 情報収集が追いつかない
よくわからない ⇒ 不安

○消費者は待っていればいい？

ひとりひとりが関心を持ち、判断する力を持つことが必要

〔 情報を収集し、判断材料を選択する力
ほんとかな？と冷静になる力
知りたいことが何か、どういうふうに知らせてほしいかを伝える力・・・ 〕

学校での家庭科や給食指導に感謝、そして期待

⇒消費者ももっとみんなで力をつけよう！！

○食品の「安全」と「安心」は違う？「安心」はどこから生まれる？

「安全」：しくみの整備と適切な運用によってほぼ（100%ではないが）確保できる

「安心」：そのことがきちんとわかるように知らされて、「納得」できて初めて生まれる
でも

「科学的知見により安全である」と一方的に説得されても納得しきれない

〔 丁寧に説明してくれる 〕 ⇒伝える側の人 ⇒信頼 ⇒納得 ⇒ようやく安心
不安を聞いてくれる 〕 のことを知る

しくみの進化も大事、知らされる場のあり方も大事

○関心のない人はほっといていいの？

みんなにリスコミの「みえる」化・・・ひとりでも多くの「安心」へ

○これからもずっと！

大きくなった生協、リスコミのくふうがさらに必要

「学びあう」「わかりあう」場づくり

「たすけあい、ささえあい、わかちあう」場づくり がんばります！

ありがとうございました😊！